

令和4年  
秋冬号  
発行  
馬路村農協



農協HP  
はぐろ

# 秋まっただい なつかしい

ゆずいろ  
まんかい



普段は閑散としがちな集荷場も、この時期だけは農家さんの社交場です。この日も早朝から大量のゆずが届き、農家さんの明るい声が響きます。お喋りしていると、いつの間にか日が登ってしまっていました。



待ちに待ったゆずの季節、村全体が黄金色に染まります。大忙しのこの季節は、農協の組合長も現場の最前線に駆り出されます。ある日は男子を連れてゆず畑へ、ある日は女子に混ぜてゆず玉の箱詰めです。この日は玉詰めを手伝いに来てくれました。180cm以上の背を縮めて、ちまちまゆずを詰める姿は、どこかミスマッチでふふつと笑みが溢れてしまいます。神出鬼没な組合長との仕事は、この季節限定の密かな楽しみになっています。

## 86歳 すみちゃんの バイリンガル コーナー

村特有のバイリンガル用語がたくさんあります。あなたはわかるかな？

例) 昨晚は嫁に「ぎゃんつかされて」こたえた

※答えは裏面に

ぼかぼかした日差しと、パチンパチンとリズム良くへたを摘む音に、眠気が誘われる屋下がり。ゆず畑では穏やかな時間が流れています。



## ゆずの道具たち



普通の帽子をかぶって収穫する人も多いですが、ゆずの鋭いトゲから頭を守るためにはヘルメットの防御力が一番です。ヘルメットのおんちゃんは、平気で頭ごと突っ込んで行きます。



ゆず収穫の際の必需品。軍手等、普通の手袋ではトゲが貫通してしまいます。必ず皮の手袋を使います。使い込まれて黒ずんだ手袋は独特の味があり、かっこいいものです。

### 手ぼり器

ゆずを搾るための木製の搾り器。自家用や親戚に送るゆず果汁を搾っています。村の大工さんや農家さんの手作りで、各家で大事に使われています。



収穫時の難点はゆずが枝のトゲで傷つくことです。そのためこの高枝バサミで枝をすり抜けるように、一玉ずつ収穫しています。高枝バサミは長さも様々、木に合わせて使い分けれます。

### へたつみバサミ

高枝バサミで採ったゆず玉の残った枝葉をカットします。このへたをギリギリで摘めるように、へたつみバサミの先端は湾曲しています。





